

AV MATERIAL

ニュースクリップ & 映像教材

■教育メディア開発利用研究会開催

(一財)日本視聴覚教育協会や日本視聴覚教具連合会などが実施している標記研究会が、平成30年9月21日(金)、茨城県つくば市立みどりの学園義務教育学校において開催された。同校は本年4月に開校し、ICTを先進的に活用し、外国語、21世紀型スキル、STEM教育などに取り組んでいる。当日は、児童生徒による英語やプログラミングのプレゼンテーションの他、e-Learning、スクラッチ、指導者用デジタル教科書等を活用した、7つの授業が公開された。



協会情報

■「eスクール ステップアップ・キャンプ2018」愛媛県、長野県にて開催決定

(一財)日本視聴覚教育協会・日本視聴覚教具連合会主催、文部科学省共催による標記研修会の開催日程が決定。「西日本大会」を平成30年11月23日(金・祝)、西条市丹原文化会館(愛媛県西条市)、「東日本大会」を平成31年2月2日(土)、ホクト文化ホール(長野県長野市)の2箇所で開催する。ICTを活用した教育についてのワークショップや実践発表、教材・教具の体験展示等を行う。詳細は順次<http://eschool.javea.or.jp/>にて公開。〈問い合わせ先〉(一財)日本視聴覚教育協会 TEL 03-3431-2186

AV情報

■放送大学 BSで学び直しの新たなチャンネル登場

放送大学では、平成30年9月に地上波テレビ、

FMラジオによる放送を終了し、10月から、BSチャンネルにて放送する。放送は、「学び直しのための新しいチャンネル(単位認定を前提としない授業番組)」BSキャンパスex(231ch)と従来の「授業番組(単位認定を前提とした授業科目)」BSキャンパスon(232ch)の2つの番組。

番組詳細については、下記を参照のこと。https://www.ouj.ac.jp/hp/special/article/20180401_01.html

〈問い合わせ先〉放送大学 TEL 043-276-5111 (平日9:00~18:00。土曜日は9:00~13:00)

■eラーニングアワード2018フォーラム

「eラーニングを取り巻く現状と未来」について、事例紹介・発表・議論する標記フォーラムが、(一社)e-Learning Initiative Japan他主催により開催される。

〈日時〉平成30年11月14日(水)9:00~17:55、15日(木)9:00~18:00、16日(金)9:00~17:35
〈会場〉ソラシティカンファレンスセンター(東京都千代田区神田駿河台4-6)

〈内容〉基調講演、特別講演、日本e-Learning大賞発表等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.elearningawards.jp/>

〈問い合わせ先〉eラーニングアワードフォーラム運営事務局 MAIL info@elearningawards.jp

■2018国際放送機器展 (Inter BEE 2018)

デジタルコンテンツEXPO 2018と同時開催

(一社)電子情報技術産業協会では、音と映像と通信の標記国際展示会および、先端デジタルコンテンツ技術をテーマとしたデジタルコンテンツEXPO 2018も同時開催する。

〈日時〉平成30年11月14日(水)～16日(金) 10:00～17:30、16日は、17:00まで。

〈会場〉幕張メッセ(千葉県美浜区中瀬2-1)

〈内容〉プロオーディオ、映像表現/プロライティング、映像制作/放送関連機材、ICT/クロスメディアの4部門の展示等。

〈問い合わせ先〉(一社)日本エレクトロニクスショー協会 TEL 03-6212-5231

■第38回「地方の時代」映像祭2018

「地域の未来を考え続ける」をテーマとした標記映像祭が吹田市、関西大学、日本放送協会、日本民間放送連盟、日本ケーブルテレビ連盟の共同主催により開催される。

〈日程〉平成30年11月10日(土)～16日(金)

〈会場〉関西大学千里山キャンパス内(大阪府吹田市山手町3-3-35)

〈内容〉映像祭コンクール贈賞式、グランプリ作品上映、シンポジウム、ワークショップ等。

〈問い合わせ先〉「地方の時代」映像祭実行委員会事務局 TEL 06-6363-3874

研究会情報

■第44回全日本教育工学研究協議会全国大会 川崎大会

日本教育工学協会では、「夢!希望!かわさき!未来社会を切り拓く資質・能力の育成」をテーマに標記大会を開催する。

〈日時〉平成30年11月9日(金) 8:50～17:30、10日(土) 8:50～16:30

〈会場〉カルッツかわさき(川崎市川崎区富士見1-1-4)他公開授業校

〈内容〉公開授業・学校内研究協議会、基調講演「新学習指導要領で重視される情報活用能力」、パネルディスカッション、研究発表、ワークショップ、企業展示見学等。

〈問い合わせ先〉第44回全日本教育工学研究協議会全国大会企画委員会 MAIL 2018_info@jaet.jp

コンクール情報

■映文連アワード2018受賞作品決定

(公社)映像文化製作者連盟が主催する標記アワードには、162作品の応募の中から最優秀作品賞(グランプリ)「からだの中の宇宙 高精細映像が解き明かす」((株)ヨネ・プロダクション)、文部科学大臣賞「ニジェール物語」((株)チーム谷四)等を決定した。

他受賞作品は、下記を参照のこと。

<http://www.eibunren.or.jp/>

〈問い合わせ先〉(公社)映像文化製作者連盟 TEL 03-3662-0236

■第16回「全国地域映像コンクール」作品募集

NPO法人地域文化アーカイブスでは、地域で制作された文化資産等に関する映像を広く募集し、顕彰することにより、「地域の文化」を全国に知らしめ、支援・維持・継承に寄与することを目的とした標記コンクールの実施にあたり作品を募集している。

〈応募資格〉地方公共団体および関連団体。制作者のプロ・アマを問わない。

〈応募作品〉地域の伝統芸能・文化資産等に関する映像で、テーマは自由。地方公共団体および美術館博物館等公共関連団体で企画または制作された動画ソフト。

〈賞〉グランプリ、優秀賞、審査員特別賞他。

〈締切〉平成30年10月31日(水)必着。

〈問い合わせ先〉NPO法人地域文化アーカイブス事務局 TEL 03-5876-3970

■第30回記念 丹波篠山ビデオ大賞作品募集

篠山市、篠山市教育委員会、丹波篠山ビデオ大賞実行委員会主催による標記全国アマチュアビデオコンテストでは作品を募集している。

〈募集部門〉グランプリ部門テーマ「生きる」(7分以内)、チャレンジ部門テーマ「ささやま自

慢!」(2分以内)

〈応募資格〉アマチュアで個人、団体、年齢、国籍等は問わない。

〈応募条件〉DVD-R、BD-Rのメディアで応募。2016年以降に制作された作品他。

〈賞〉グランプリ部門ビデオ大賞10万円、兵庫県知事賞5万円、篠山市長賞3万円他。チャレンジ部門人気ナンバーワン賞1万円。

〈締切〉平成30年11月30日(金)必着。

〈問い合わせ先〉篠山市視聴覚ライブラリー内「丹波篠山ビデオ大賞実行委員会事務局」

TEL 079-590-1301

学会情報

■研究会「高等教育における学修評価／一般」

日本教育工学会は、標記をテーマに研究会を開催する。

〈日時〉平成30年10月14日(日)10:05~17:35
〈会場〉日本福祉大学東海キャンパス(愛知県東海市大田町川南新田229)

〈内容〉研究発表「グループワークについての態度が授業内のグループワークの認知に及ぼす影響」他、FDシンポジウム(日本福祉大学主催、日本教育工学会共催)「教育の質保証を考える」等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.jset.gr.jp/study-group/>

〈問い合わせ先〉研究会幹事

MAIL study-group-core@jset.gr.jp

各地の情報

■第2回関西教育ITソリューションEXPO

リードエグジビションジャパン(株)主催による教育分野の専門展が開催される。

〈日時〉平成30年11月7日(水)10:30~17:00、8日(木)・9日(金)10:30~16:30

〈会場〉インテックス大阪(大阪市住之江南港北1-5-102)

〈内容〉基調講演、専門セミナー、教育用ICT機器、デジタル教材、eラーニングの展示等。詳細は、下記を参照のこと。

<https://www.edix-expo.jp/ja-jp.html>

〈問い合わせ先〉リードエグジビションジャパン

(株)教育ITソリューションEXPO事務局

TEL 03-3349-8510

■平成29・30年度仙台市教育委員会認定 自主公開校 公開研究会 仙台市立六郷小学校

仙台市立六郷小学校では、「対話」を通して学びを深める授業づくりー学びの基盤としての情報活用能力を手がかりにー」を研究主題に、標記研究会を開催する。

〈日時〉平成30年12月7日(金)9:30~16:40

〈会場〉仙台市立六郷小学校(仙台市若林区六郷11-11)

〈内容〉公開授業、授業検討会、シンポジウム「『対話』を通して学びを深める授業とは(仮)」

〈問い合わせ先〉仙台市立六郷小学校 TEL 022-289-2157

文部科学省選定作品

■8月選定 紙紙しばい ㊦DVD ㊦映画

「ボンコちゃんとばけめいじん」㊦8枚〈幼稚園等幼児／幼児、教養〉(株)童心社

「よるのせいそうしゃ スーパーくん」㊦12枚〈幼稚園等幼児／小学校低学年／幼児、教養／少年、教養〉(株)童心社

「認知症って、なんですか?」㊦14分〈少年、国民生活(高齢社会)〉千葉エデュケーショナル(株)
「はじめて認知症の人に接するあなたへ」㊦19分〈青年・成人、国民生活(高齢社会)〉千葉エデュケーショナル(株)

「いのちの深呼吸」㊦87分〈成人、教養〉(株)パンドラ

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

短信

■平成30年7月17日、日本視聴覚教具連合会会長に、中山実氏(東京工業大学工学院教授)が就任した。

■ICT CONNECT21は、平成30年9月26日(水)に、事務所を移転した。新住所は以下のとおり。
〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8赤坂2丁目アネックス3階 TEL、FAXは変更なし。

文部科学省情報

平成31年度概算要求について

平成31年度文部科学省関係概算要求においては、「人生100年時代」や「Society 5.0」の到来を見据えながら、日本を誰にでもチャンスがあふれる国へと変えていくため、教育再生、科学技術イノベーション、スポーツ・文化の振興により、「人づくり革命」を断行し、「生産性革命」の実現を図ることがポイントとなっている。

文部科学省所管一般会計概算要求・要望額は、対前年度予算比11.8%増の5兆9,351億円。情報教育課の概算要求の内容は以下のとおり。

【情報通信技術を活用した学びの推進（14.6億円）】

1. 学校における未来型教育テクノロジーの効果的な活用に向けた開発・実証推進事業 700百万円（新規）

「公正に個別最適化された学び」等の実現に向け、学校現場と企業等との協働により、学校教育において効果的に活用できるAI等の先端技術を利用した未来型教育テクノロジー（いわゆる「EdTech」を含む）の開発・実証を行う。

2. 次世代の教育情報化推進事業 128百万円（拡充）

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、全ての学習の基盤となる「情報活用能力」の育成に向けた教科等横断的で体系的なカリキュラム・マネジメントや、ICTの効果的な活用の事例の創出・普及を目指す。また、新たに必修となった小学校プログラミング教育の円滑な実施に向け、指導事例の創出・普及や教員研修充実のための教材開発等を実施する。さらに、新学習指導要領に対応した高等学校情報科担当教員の研修用教材の作成・配布を行う。

3. 情報モラル教育推進事業 63百万円（拡充）

携帯電話・スマートフォンやSNSが子供たちにも急速に普及する中で、児童生徒が、自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任を持つとともに、犯罪被害を含む危険を回避し、情報を正しく安全に利用できるようにするため、指導資料の改善・充実や児童生徒向け啓発資料の作成・配布等によ

文部科学省生涯学習政策局情報教育課

り、学校段階、児童生徒の発達段階等に応じて、情報モラル教育の着実な実施を図る。

4. 学校ICT環境整備促進実証研究事業 363百万円（継続）

〈統合型校務支援システムの導入促進〉

教員の業務負担軽減及びそれを通じた教育の質の向上を図る観点から、学校における校務の情報化を効率的に進めるため、都道府県単位での統合型校務支援システムの共同調達・運用の促進に係る実証事業を行う。

〈遠隔授業システムの導入支援〉

多様な学習環境や専門性の高い授業の実現等、児童生徒の学びの質の向上を図るため、遠隔教育システムの導入促進に係る実証事業を行う。

5. 次世代学校支援モデル構築事業 119百万円（継続）

児童生徒が学習用コンピュータ等を活用した際の学習履歴等と、教員が校務事務で入力したデータ等を連携・活用して、学びを可視化することを通じ、教員による学習指導や生徒指導等の質の向上、学級・学校運営の改善等を図ることを目的とした実証研究を行う。（総務省と連携）

6. ICTを活用した教育推進自治体応援事業 78百万円（拡充）

ICT環境の整備・充実等を図る取組を支援するため、「ICT活用教育アドバイザー」の自治体への派遣を行うとともに、児童生徒の情報活用能力の把握や授業におけるICT活用の健康面への影響に関する調査研究を実施し、その成果を全国の教育関係者に普及することにより、自治体における教育の情報化の推進を支援する。

7. 教育用コンテンツ奨励事業 13百万円（継続）

教育に利用される映像等の教育用コンテンツ及び教育用デジタルコンテンツについて、教育上価値が高く、学校教育及び社会教育に広く利用されることが適当と認められるものを選定し、広く一般に普及・奨励を図る。